

令和元年度度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(経済産業省31-2-4)

施策名	2-4 クールジャパン		担当部局名	商務・サービスグループ		政策評価実施予定時期	令和2年8月
施策の概要	クールジャパンの推進により、日本の生活文化に根ざした製品・サービスの海外展開を後押しする。					政策体系上の位置付け	2 産業界育成
達成すべき目標	2020年時点で市場規模900兆円以上とされている世界の文化関連産業のうち、主な対象分野となるファッション、コンテンツ、観光関連分野において相当程度のシェア獲得を目指す。			目標設定の考え方・根拠		平成23年5月12日に策定された、クールジャパン官民有識者会議提言「新しい日本の創造」及び平成25年6月に取りまとめられたクリエイティブ産業国際展開懇談会中間報告等を踏まえて設定。 「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定)を踏まえて設定	
施策の予算額(執行額) (百万円)	29年度	30年度	令和元年度	施策に関する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	「成長戦略(2019年)」(令和元年6月21日閣議決定) 「未来投資戦略2018」(平成30年6月15日閣議決定) 「総合的なTPP関連政策大綱」(平成29年11月24日TPP総合対策本部決定) 「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定)		
	2,366 (2,172)	7,830 (6,269)	3,111				

【測定指標】

測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値							測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
					年度ごとの実績値							
	基準年度	目標年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
1 海外における日本由来のコンテンツ産業市場規模	1.7兆円	平成27年度	2.5兆円	令和3年度	1.8	1.9	2.1	2.3	2.5	-	-	「未来投資戦略2018」(平成30年6月15日閣議決定)において、海外の成長市場を取り込むために新たに講ずべき具体的施策のうち「日本の魅力を活かす施策」の一つであるクールジャパンを促進するため、商品・サービスの海外展開の促進が掲げられていることを踏まえ、当該指標を設定。
					1.4	測定中	-	-	-	-	-	
2 外国人旅行消費額	3.47兆円	平成27年度	15兆円	令和12年度	3.7	4.4	4.5	6	8	8.7	9.4	「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定)に掲げる政府目標である令和2年度に8兆円、令和12年度に15兆円を基準として、そこに至るまでの増加傾向については想定出来ないことから均等割で設定した。なお、観光ビジョン記載の全ての施策を通じて目指すものであり、本施策のみで達成するものではない(令和2年は当該観光ビジョンで記載の目標値)。
					3.7	4.4	4.5	-	-	-	-	
3 (クールジャパン機構)民間企業からの協調出資等の事業総額に対する割合	50%	平成26年度	50%	令和5年度	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	日本の魅力を産業化に結び付けていくため、クールジャパン機構を通じたりスクマナーの供給によるクールジャパンの戦略的な推進が重要である。クールジャパン機構の政策目標(KPI)については、「官民ファンドの運営に係るガイドライン」(平成25年9月第1回官民ファンドの活用推進に関する関係閣僚会議決定)に基づき、経済産業省が決定していることを踏まえて設定。
					75.0%	72.0%	測定中	-	-	-	-	

【達成手段一覧】

達成手段		予算額計(執行額) (百万円)			開始 年度	関連する 指標	達成手段の概要等	再掲	平成30年 行政事業 レビュー 事業番号
		29年度	30年度	令和元年度					
1	株式会社海外需要開拓支援機構への出資(財政投融资)	22,900 (0)	13,500 (0)	17,000	平成25年度	3	我が国の生活文化の特色を生かした商品やサービス(コンテンツ、衣食住関連商品、サービス、先端テクノロジー、レジャー、地域産品、伝統産品、教育、観光等)の海外需要の獲得を行う事業活動に対する出資等の資金供給等を行う。	-	-
2	新コンテンツ創造環境整備事業	600 (593)	428 (419)	505	平成29年度	1	コンテンツと他産業の連携により、日本コンテンツ産業の海外市場規模が拡大することで、海外におけるクールジャパン関連産業全体のシェア獲得を促進することができる。	-	0069
3	博覧会国際事務局(BIE)分担金	7 (7)	9 (9)	9	昭和40年度	-	BIEの分担金はBIE加盟国に課せられたもので、運営財源に当てられている。日本はBIE規則委員会の副委員長を務めており、運営に強く関与することで万博開催にあたって日本の存在意義をより高められる。	-	0071
4	国際博覧会出展事業委託費	1,634 (1,460)	2,430 (2,373)	2,539	平成18年度	-	国際博覧会の参加を通じ、クールジャパンを含めた我が国の魅力を国際社会に発信することで、日本企業の海外進出や外国人観光客の日本誘致の足掛かりとすることができる。	-	0072
5	コンテンツグローバル需要創出等促進事業費補助金	-	0	3,001	平成30年度	1	コンテンツと他産業の連携により、日本コンテンツ産業の海外市場規模が拡大することで、海外におけるクールジャパン関連産業全体のシェア獲得を促進することができる。	-	0068
6	ローカルクールジャパン推進事業	-	-	202	令和元年度	2	日本の技術や生活文化の特色を生かした魅力ある商材を有する中小企業が、インバウンド需要開拓に向けて「市場調査、商材改良、PR・流通」まで一貫してプロデュースするプロジェクトに係る経費の一部を補助するとともに、地域商社等を活用し地域全体のブランド化や海外へのPRをサポートし、中小企業の海外需要の獲得を支援するとともに、新技術等を活用して訪日観光客の消費を促進するような環境整備を図る。	-	新31-0009